

蒜山野営場 湿地、池内の動物・植物

動物

- アカハライモリ

体長 10 cm になる両生類で、腹部の明るい赤と黒の斑点模様が特徴的である。テトロドトキシンという危険な毒がある。万が一触れた場合は、その部分をしっかりと洗浄すること。

- ムカシトンボ

体長は 5cm 前後、翅の長さは 3 cm 前後の中型のトンボで、かつては広範に生息していたムカシトンボ族の唯一の残存種である「生きた化石」だ。

- ゴマシジミ

前翅長 18-24 mm。幼虫はアリの巣に運ばれ、アリの幼虫を常食し、孵化する。2019 年現在、絶滅危惧種。

湿地の植物

- ノハナショウブ

多年草。花期は 6 月で、赤紫色の花びらの基部に黄色のすじが入るのが特徴。世界中で生育されている現代的なアヤメの野生原種。

- キセルアザミ

多年草。花期は 8-10 月で、下向きに赤い花をつける。日本の伝統的なたばこパイプである煙管の形に似ていることからこの名がついた。

- テンツキ

一年草。赤褐色の小穂で果実期は 7-11 月。小穂が上を向くので「天突き」と呼ばれるようになったという説がある。

池内の植物

- フトヒルムシロ

多年草のやや赤みを帯びた深緑の大きなつやのある浮草。4-6 月には小さな黄緑の花を咲かせる。名前の由来は蛭筵（ひるむしろ）で、浮葉を蛭が乗った様子を筵に乗っていると例えている。

- オオイヌハナヒゲ

多年草。この草のような種は中国地方では標高 400 メートル以上の場所にのみ生息している。7-9 月に赤褐色の小穂をつける。名前からイヌノハナヒゲと呼ばれるスゲの、特に大きな種類であることがわかる。

- ヤマイ

多年草。山の湿地に生息するスゲの一種で、30-40 cm の花茎はただ 1 つだけ小穂をつける。ヤマイは山イグサを意味する。